

## 第1 監査の対象

勝川開発株式会社

## 第2 監査の期間

平成30年12月11日から平成31年2月14日まで

## 第3 監査の方法

勝川開発株式会社における出納その他の事務が関係法令等に基づき適正に行われているかについて、都市監査基準（平成27年8月27日全国都市監査委員会制定）に準拠し、主として平成30年度の関係書類を調査するとともに、関係職員から説明の聴取及び現地調査を行った。

なお、監査は次のとおり主な着眼点を設定し、対象となる事項について調査を行った。

### 1 所管課に関する事務

- (1) 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- (2) 出資団体の経営成績及び財政状態を十分把握し、適切な指導監督を行っているか。

### 2 勝川開発株式会社に関する事務

- (1) 定款、経理規程等の諸規程は整備されているか。
- (2) 出資目的に沿った事業運営が行われているか。
- (3) 経営成績及び財政状態は良好か。
- (4) 会計経理及び財産管理は適切か。
- (5) 資金の運用は適切で、経費節減は図られているか。
- (6) 関係帳票の整備・記帳及び領収書等の証拠書類の整備・保存は適切か。

## 第4 監査の結果

勝川開発株式会社は、出資目的に沿って事業が運営され、調査を行った事項はおお

むね適正に執行されていると認めた。しかし、次のとおり注意を要する事項が見受けられたので、速やかに適切な措置を講じられたい。

なお、各指摘事項は、業務の執行が法令等の定めに反しているものなど重要と判断するものを是正事項とし、それ以外のものは注意事項と区分した。

## 1 注意事項

### (1) 勝川開発株式会社に関する事務

#### ア 契約の手続きが適切でなかったもの

リース契約において、契約を締結し納品を受けた後に契約締結の決裁がされていた。

#### イ 契約関係書類の確認が不十分であったもの

ルネックビル警備委託及び産業廃棄物処理委託において、自動更新時に業務に必要な認定や許可の確認がされていなかった。

#### ウ 手当の支給に誤りがあったもの

社員の時間外手当において、算定誤りにより過支給となっていた。

## 第5 意見

地方自治法第199条第10項の規定に基づき、監査の結果に関する報告に添えて、経済性・効率性・有効性等の観点から次の意見を提出する。今後の事務の執行に当たっては、必要に応じて適切に対応されたい。

### 1 勝川開発株式会社に関する事務

#### 健全経営の確保・継続を求めるもの（経済性・有効性）

第三セクター（春日井市、商工会議所、市内企業が出資）方式で設立された勝川開発株式会社は、勝川駅前の中核施設として建設された再開発ビル（ホテル棟）の管理運営を始め不動産賃貸事業や市施設の指定管理業務等を行っている。経営面では、コミュニティ住宅一般貸出による収益事業の拡充や経費削減などにより平成19年度以降10年以上にわたり黒字決算を続けている。また、同社が100%出資する子会社である株式会社ホテルプラザ勝川についても同様に黒字決算で推移している。

しかしながら、多額の長期借入金や繰越利益剰余金のマイナスなどの課題がある中、管理施設の経年劣化への対応も必要となることから、健全経営の確保・継続について

は懸念されるところである。

については、設立目的である勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりの推進を図るため、勝川駅周辺という立地の優位性と株式会社としての特性を活かした経営基盤の強化に寄与する事業の展開を期待するものである。

## 第6 勝川開発株式会社の概要

### 1 概況

#### (1) 設立目的

勝川開発株式会社は、勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりを推進し、併せて健全なビルの管理運営を図ることを目的とする。

#### (2) 組織（平成30年11月1日現在）

ア 会社役員（取締役社長1名、専務取締役1名、常務取締役1名、取締役6名、監査役2名）

イ 職員数8名（社員5名、パートタイマー3名）

#### (3) 市との関係

勝川開発株式会社は、春日井市の西の玄関づくりを目標とした勝川駅周辺総合整備計画に基づいて整備された公共・公益施設の管理運営を行うため、春日井市が資本金の2分の1以上を出資している株式会社で、勝川駅周辺の活性化と魅力あるまちづくりを推進している。

平成30年3月31日現在、株主数は154名であり、春日井市の持株数は7,120株、持株比率は50.1%となっている。

### 2 主な事業内容

#### (1) 不動産賃貸業務

ア ホテルプラザ勝川

イ ルネック

ウ 勝川駅南口ビル

エ 勝川駅北立体駐車場

オ 月極駐車場

カ コミュニティ住宅（一般貸出）

(2) 公の施設の指定管理者業務

- ア 勝川駅前公営施設
- イ 勝川駅前地下駐車場
- ウ 勝川駅南口立体駐車場
- エ コミュニティ住宅（共用部管理）

(3) 施設管理業務

- ア ホテルプラザ勝川
- イ ルネック
- ウ 勝川駅南口ビル
- エ 月極駐車場

(4) その他業務

- ア 子会社（株式会社ホテルプラザ勝川）の管理
- イ 春日井市住民票の写し等の交付

3 決算状況

勝川開発株式会社の第22期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の経営状況は、売上高375百万円、営業利益60百万円となり、営業外損益を加えた経常利益は60百万円、当期純利益は41百万円を計上している。

なお、当期の貸借対照表、損益計算書は次のとおりである。

# 貸 借 対 照 表

(平成30年 3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
流動資産	140,950,783	流動負債	32,233,871
現金及び預金	124,089,288	未払法人税等	11,677,700
売掛金	8,674,258	未払消費税等	3,128,900
貯蔵品	1,011,425	未払費用	10,081,360
立替金	5,393,603	前受金	5,380,817
前払費用	1,763,078	預り金	1,965,094
未収入金	104,131		
貸倒引当金	△85,000	固定負債	995,950,300
固定資産	1,324,742,569	長期借入金	980,800,000
有形固定資産	973,921,685	預り保証金	15,150,300
建物	564,361,904	負債合計	1,028,184,171
建物附属設備	58,054,313	〔純資産の部〕	
構築物	7,585,948	資本金	410,600,000
機械装置	6,373,028	資本剰余金	300,000,000
工具器具及び備品	4,627,606	資本準備金	300,000,000
土地	332,918,886	利益剰余金	△273,090,819
無形固定資産	1,036,689	繰越利益剰余金	△273,090,819
ソフトウェア	1,036,689		
投資その他の資産	349,784,195	株主資本合計	437,509,181
関係会社株式	290,000,360		
出資金	170,000		
長期前払費用	59,613,835	純資産合計	437,509,181
資産合計	1,465,693,352	負債・純資産合計	1,465,693,352

# 損 益 計 算 書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		375,980,887
売 上 原 価		254,736,906
売 上 総 利 益		121,243,981
販売費及び一般管理費		60,803,791
営 業 利 益		60,440,190
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	8,688	
雑 収 入	212,583	221,271
営 業 外 費 用		
雑 損 失	0	0
経 常 利 益		60,661,461
特 別 損 失	173,999	173,999
税引前当期純利益		60,487,462
法人税、住民税及び事業税		18,612,357
当 期 純 利 益		41,875,105